

自己評価結果等の公表

公表：令和3年2月28日

事業所名 金沢市障害児通園施設ひまわり教室

1. 児童発達支援（I部）「保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果」

保護者等数（児童数）8人 回収数8人 割合100%

<回答の分析結果は表1の通り>

- ・8名から回答をもらう。質問は5つの領域に分かれていて、全部で23個の問い。

表1 「保護者等からの児童発達支援事業所評価の回答の集計結果」 ()内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	合計
環境、体制整備 (①～④)	32 (100)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	32 (100)
適切な支援の提供 (⑤～⑨)	35 (87.5)	3 (7.5)	1 (2.5)	1 (2.5)	0 (0)	40 (100)
保護者への説明等 (⑩～⑱)	76 (95.0)	2 (2.5)	0 (0)	1 (1.25)	1 (1.25)	80 (100)
非常時等の対応 (⑳～㉑)	15 (93.7)	1 (6.3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (100)
満足度 (㉒～㉓)	16 (100)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (100)
合計	174 (94.6)	6 (3.3)	1 (0.5)	2 (1.1)	1 (0.5)	184 (100)

環境・体制整備

① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 ・「トランポリンなど、子どもがアクティブに活動出来るスペースがあると思います」「教室にたいしての子どもの受け入れ人数がちょうど良く、のびのびと活動できていると思います」「子どもが走りまわれるほど広いスペースです」
② 職員の配置数や専門性は適切であるか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 ・「とても親切に子どもの様子を見ていただいています」「平日の様子を拝見すると（日中）適切だと思います」「1人に対して1人付いてくれているので安心して預けられています」「職員の数に充分だと思います」
③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 ・なし
④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 ・「清潔感があり、安心して預けられます」「いつ伺っても清潔です」「掃除がいきとどいていてきれいで気持ちいいです」「きれいにそうじされています」

適切な支援の提供

⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 ・「子どものこと、家族のこと、どちらも良くみて頂いています」
⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 ・なし
⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 ・なし

⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか はい7 (87.5%) どちらともいえない1 (12.5%) いいえ0 わからない0 意見 ・「毎日違う遊びをしていて、楽しく通っています」「日替わりで色々なことをしています。お出かけもしていました」
⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか はい4 (50.0%) どちらともいえない2 (25.0%) いいえ1 (12.5%) わからない1 (12.5%) 意見 ・「今年はしかたないですね」「感染予防のために教室以外の子ども達とは関われませんが、(学校に)入学後にもぜひ教室の力を借りたいと思います」「以前は交流をしていましたが、コロナ禍の今はどうなのかわかりません」「コロナ禍で難しい中、公園など連れて行っていただきました」

保護者への説明等

⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか はい7 (87.5%) どちらともいえない1 (12.5%) いいえ0 わからない0 意見 ・「ひまわりを利用する前に説明をして頂きました」
⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 ・なし
⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか はい7 (87.5%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (12.5%) 意見 ・「学習会で自分の意見を話すことで、就学に向けての学校との話し合いにも活きていると思います」「面談のとき、先生のアドバイスは、はっと気づかされたり、納得したりすることが多いです」
⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 ・「連絡帳で一日の活動内容や子どもの体調等のやり取りや、相談も対面でしています」「迎えや送りの時に教室の様子を聴けてうれしかったです」「現状維持ではなく、常に新しいことへチャレンジしていただき感謝しています」「帰ってきたとき、連絡帳などにその日の出来事を伝えてもらっています」「食事のときむせていた、今日こんなことした等たくさん教えていただいています」
⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 ・「問題があった時は臨時で相談や家庭訪問があり助かりました」「毎月、熱心に話を聞いてくださっています」「月1回、面談をしていただいています」
⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか はい7 (87.5%) どちらともいえない1 (12.5%) いいえ0 わからない0 意見 ・「感染予防のために、作り物や当番で集まることがなく、さみしいですね」「コロナがすんだらできるとよいですね」「母親の会ではLINEでやり取りが行われています」「勉強会、あまり参加できていないのが申し訳ないですが、お母さん同士では連絡は取り合っています」
⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 ・「子どもが暑がりなので近くに扇風機を置いてくださったり、タオルの保冷剤を交換して下さったり、配慮していただいています」「突然の体調不良や入院の際に、保育を延長して下さり助かりました」
⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか はい7 (87.5%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 無回答1 (12.5%) 意見 ・「連絡帳があります」
⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 ・「でこぼこ通信、家族が楽しみにしています」

要望 ・ 「ホームページに、月の予定や活動の様子など掲載されると嬉しいです」
⑱ 個人情報の取扱いに十分注意されているか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0
意見 ・ 「写真を何かに利用される時も、きちんと利用して良いか聞いて下さっています」「新聞や外部の広報誌に名前や写真を載せてもいいか、職員の方から確認の連絡があります」

非常時等の対応

⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか はい7 (87.5%) どちらともいえない1 (12.5%) いいえ0 わからない0
意見 ・ 「避難訓練に参加できませんでしたが、新聞（通信）に様子が書いてあり、分かりやすかったです」 要望 ・ 「玄関が開きっぱなしのことが多いように感じるので、不審者が侵入してきたときの対策が気になります」 *お母さんとは話をして、共通理解をしました。
㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0
意見 ・ 「避難訓練の様子のお知らせ（おたより）がありました」「訓練の様子をでこぼこ通信で教えて下さいました」

満足度

㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0
意見 ・ 「毎日ニコニコしながら通っています「お休みの日も教室へ行きたいというほど楽しみにしています。行った日はニコニコで、何して遊んだか報告してくれます」「朝9時くらいになると、どこかに行きたいみたいなので、本人の頭に、通所についてインプットされていると思います」「毎日楽しみにしています」「毎日、今日は何をしたのか、帰宅後に教えてくれます」「お迎えがくるといつも喜んでいきます！ひまわりが大好きなようです」
㉓ 事業所の支援に満足しているか はい8 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0
意見 ・ 「手厚い対応で、少人数なので、感染症のリスクも少なく安心して通所できています」「子どもたちや保護者のことを第一に考えてくださり、困ったことがあってもすぐに対応してもらい満足しています」

<児童発達支援事業（I部）保護者評価を読んで>

- ・全部で23項目の質問がある中で、17項目で「はい」が100%でした。
- ・評価が滞れたのは「保育園などとの交流」に関する項目で、「はい」が50%、「どちらともいえない」が25%、「いいえ」「無回答」がそれぞれ12.5%でした。
- ・今年度は新型コロナ感染問題で、例年のような交流ができなかったため、「どちらともいえない」「いいえ」が高率になるのももつともです。
- ・「はい」と答えた人は、上のような状況の中でも外へ出る機会を見つけて外出している姿やひまわり教室の基本姿勢として、いろんな子との交わりを大切にしたいと考えている点を評価して下さったのだと思います。
- ・記述式のところでも、肯定的な内容のものがほとんどでした。1つ不安として記されていたのは、「ドアが開けっ放し」になっていて不審者が入ってきたときに心配である」という趣旨のものがありませんでした。このことについては日頃から注意していくとともに、保護者への説明をていねいにしていく事も大切だと思います（書いて下さったお母さんとは直接話をして理解を深め合いました）。

2. 児童発達支援事業（I部）「職員からの児童発達支援事業所自己評価の集計結果」

金沢市障害児通園施設ひまわり教室 職員数 7人 回収数 7人 割合100%

<回答の分析結果は表2の通り>・質問は6つの領域に分かれていて、全部で47個の問い。

表2 児童発達支援事業自己評価に関する質問の職員からの回答の集計結果 ()内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	合計
環境、体制整備 (①～④)	28 (100)	0 (0)	0 (0)	28 (100)
業務改善 (⑤～⑨)	35 (100)	0 (0)	0 (0)	35 (100)
適切な支援の提供 (⑩～⑳)	73 (94.8)	4 (5.2)	0 (0)	77 (100)
関係機関や保護者との連携 (㉑～㉓)	53 (68.8)	17 (22.1)	7 (9.1)	77 (100)
保護者への説明責任等 (㉔～㉖)	59 (93.6)	2 (3.2)	2 (3.2)	63 (100)
非常時等の対応 (㉗～㉙)	42 (85.7)	4 (8.2)	3 (6.1)	49 (100)
合計	290 (88.2)	27 (8.2)	12 (3.6)	329 (100)

環境・体制整備

① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 工夫している点 ・主に遊びに使う部屋と食事をする部屋は分けて使っている。玄関から廊下は大きめに作ってあるので、子どもたちはよく走り回っている。ベランダから外の広場や屋上へ出て遊ぶこともある。
② 職員の配置数は適切である はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 工夫している点 ・20人定員なので4人の職員の配置に加え、日によっては、さらに3人～5人の配置をしている。今年度は通室している子どもが少ないので、余裕のある配置となっていた。医療行為の必要な子に対しても、医療行為が出来るように8人の職員が研修を受けている。 改善点 ・通室する子どもの人数が増えるように努める必要がある。
③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 工夫している点 ・建物自体がバリアフリー化されている。特にトイレはどの子どもでも利用できるように寄りかかって座れるオマルを置くなど工夫している。 ・小さい子どもにとって、自動ドア・水道の自動化などは、かえって子どもたちの行動の機会を奪ってしまうこともあるので、あえて手動にしている。玄関に段差がなく、靴のまま入って行く子がいたり、靴を履くときに不便だったりするので、気をつけている。
③ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 工夫している点 ・毎日、子どもが帰った後、掃除・遊具の片付け・消毒をしている。特に今年はコロナのこともあり、例年よりも消毒などに気を付けている。空気清浄機も5台使用している。 ・コロナと人員の関係で、掃除・消毒・片付けの工程をこなすのが難しく感じることも多いが、努力している。

業務改善

④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 工夫している点 ・週に1度のミーティングなどの時間に、子どもの確認・業務の確認等、いろいろな確認を行っている。改善すべきところは職員全員で取り組んでいる。 ・一人一人の個別支援計画の見直しを2か月に1度行っているが、その時の確認を全員で行っている。

⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点 ・事業所の評価を受けたり保護者の意向を聴いたりしながら、職員で話し合い、意向を活かせるように改善に努めている。 ・今回のアンケートの結果を受け、また取り組んでいく。
⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点 ・金沢市のホームページに公表している。また、2か月に1度発行している『ひまわり教室だより』でも公表している。お母さん達との学習会でも報告している。
⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
・昨年度は外部評価を第三者に依頼し、評価をホームページと教室だよりに掲載して公開した。 ・今年度はコロナのこともあり、中止しているが、2年に1度は行うことにしている。
⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点 ・各研修の機会を見つけ参加している。実践検討会を行う。教室内で、スーパーバイザーによる勉強会を月に数回行っている。研修の機会を大切にし、人権や医療的ケアの講習会・研修会などに参加した。 ・職員間での勉強会や研修（外部）に参加して、ミーティングなどで皆に報告している。

適切な支援の提供

⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点 ・子どもたち全員、2か月に1回個別支援計画を作成している。子どもの様子を記録からたどり、また保護者のニーズを相談の機会などから聴き、支援計画を作成した。これからの課題をどうしていくかを職員で話し合いをしている。その記録をもとにお母さんと話し合っている。
⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点 ・一般的な発達検査を入室時に行っている。保護者の方からの聞き取り用の個人表は全員同じものを使用している。
⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点 ・2か月に1度行っている支援計画の項目は、「日常生活」「体」「手指」「人間関係」「興味関心」「理解」「情動」等に分けて最近の様子をまとめ、各々ねらいを設定し、それに沿って支援している。ガイドラインで示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を適切に選択した、具体的な支援内容となっている。
改善目標 ・足りない部分もあると思うが、それは今後の課題とする。
⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点 ・日々の支援記録をたどり、適切な関りをしてきたか、これからどのような支援が必要かなどを、職員間で話し合い日々の保育をしている。そこで立てたねらい（課題）に合わせ支援している。2か月に1度見直しを行っているが、支援計画以外にも、その時々子どもたちの様子を見ながら適宜振り返りを行っている。子どもの声を聴き、子どもの動きに合わせて柔軟に支援を行えるように努めている。 ・職員間で気かけながら支援をしている。

⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点 ・活動プログラムの立案をチームで行っている。次週の活動プログラム(週案)を週末に職員で確認して立てている。
⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点 ・毎週、毎日違う遊びを設定し、毎回違う職員が考えている。先週していない遊び(活動)を次週に盛り込むようにしている。子どもの様子に合わせ、新しいものを取り入れている。
改善目標 ・遊びの内容を子どもたちの興味を引く、より参加のしやすいものにしていくために、これからも工夫を重ねる。もっと工夫することができたらいいと感じている。
⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点 ・子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる設定遊びをしている。午後の自由遊びもそうしている。1日を通し、気をつけている。その1日1日を重ねていきながら、課題をクリアしたりしていく。クリアすることが難しい時は、ねらいを立てなおす。2か月に1回見直しを行っているが、子どもの様子に合わせ、適宜見直ししている。
⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点 ・曜日ごとに1日の担当職員が決まっている。その職員が、毎朝1日の打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や職員の動き・役割分担について確認している。
⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している はい4 (57.1%) どちらともいえない3 (42.9%) いいえ0
工夫している点 ・職員の勤務の時間帯がずれているので、全員参加はできないが、支援終了後には、翌日の迎いの確認等を行っている。気になった点・共有すべき事項等の話が出された場合は、メモに書いて貼りだしたり、その日のうちに電話やメール連絡をしたりしている。急を要しない場合は、週に1回行っているミーティング時に確認している。子どもの支援で重要な事項があれば、必ず打ち合わせをしている。
⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点 ・日々の支援をケース記録に記入している。ケース記録は、一人の子に対して、「設定遊びの様子記録」と「あいさつ・食事・排泄・午後の様子等の記録」の2冊がある。この記録を基に、2か月に1回まとめ支援計画を作成している。この時に子どもの課題を設定し、保護者にも説明をしている。そしてまた2か月後に見直しをしている。 ・他に、1日の記録「保育日誌」、設定遊びの記録「遊び全体」を記録している。
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している はい6 (85.7%) どちらともいえない1 (14.3%) いいえ0
工夫している点 ・支援計画は2か月に1回行っている。⑲と同じ。見直しの必要がある場合はその機会に関わらず、適宜確認している。

関係機関や保護者との連携

㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点 ・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。
㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている はい4 (57.1%) どちらともいえない3 (42.9%) いいえ0
工夫している点 ・連携が必要な場合は、病院でのカンファレンスに参加したり、行政とも連携をとったりして支援を行っている。また、「関係機関連携加算」の枠で、保育園や小学校などと連携した支援を行っている。今後、こ

	<p>ういう支援を増やしていく予定である。</p> <p>・親の会「つながりの会」と連携している。</p>
②③	<p>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身の障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている</p> <p>はい5 (71.4%) どちらともいえない2 (28.6%) いいえ0</p> <p>工夫している点 ・医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合、医療との連携は必須である。また、通っている子が次に行く保育園や幼稚園、学校には、引き継ぎの書類を作成し渡している。必要があれば、出かけて行って引継ぎをする。</p>
②④	<p>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・連絡体制を整えている。必要書類を作成し、医療行為の研修もしている。嘱託医とも連携をとっている。</p>
②⑤	<p>移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・通っている子が次に行く保育園・幼稚園や学校には、引き継ぎの書類を作成し渡している。保育園・幼稚園や学校へ行き、直接話をすることもある。</p> <p>・退室後に子どもが通っている子ども園や小学校へ出向き、連携をしている。</p>
②⑥	<p>移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・通っている子が次に行く学校には、引き継ぎの書類を作成し渡している。話をすることもある。</p> <p>・相談支援の担当者会議にて共有することもある。その後、月に1回保育所等へ訪問したりもしている。</p>
②⑦	<p>他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている</p> <p>はい1 (14.3%) どちらともいえない5 (71.4%) いいえ1 (14.3%)</p> <p>工夫している点 ・定期的にはしていない。相談支援の担当者会議で共有することもある。</p>
②⑧	<p>保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある</p> <p>はい0 どちらともいえない5 (71.4%) いいえ2 (28.6%)</p> <p>工夫している点 ・今年度は特にコロナでむずかしい状況。幼稚園の交流保育にも行けなかった。通常であれば、教室の近所の幼稚園と交流保育を行っている。</p> <p>・できるだけ公園や児童館へ遊びに行くようにはしたが、回数は少ない。</p>
②⑨	<p>(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している</p> <p>はい1 (14.3%) どちらともいえない2 (28.6%) いいえ4 (57.1%)</p> <p>改善点 ・参加していない。機会があれば、参加していく。</p>
③⑩	<p>日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・送迎の時に話をしたり、連絡帳のやり取りをしてその日にあったことを確認し合ったりしている。保護者と話をするようにしている。月に1、2回個人面談をしている。月に1回、お母さんたちと学習会を行っている(テーマは子育て・就学就園・発達に関する学習等いろいろ)。何かあった場合はいつでも話を聴くことにしている。お母さん達とは、個別支援計画について2か月に1回、課題について確認している。子どもの発達の状況や課題について共通理解できるよう努めている。</p>
③⑪	<p>保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・⑩の設問の答えと同じように、教室でやっていることを伝え、子どもの発達の状況や課題について共通理解に努めている。家族の支援も子どもたちの支援同様、大切にしている。</p>

・月に1回、主にお母さんたちと学習会を行っている（テーマは子育て・就学就園・発達に関する学習等いろいろ）。お母さん同士、自分の話を他の人に聴いてもらったり、他の人の話を聴いたりすることで、お母さんの気持ちが落ち着いたりすることがある。

保護者への説明責任等

③② 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている

はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0

工夫している点 ・重要事項説明書・契約書等、通室契約時に説明している。運営規定は教室内に張り出している。

③③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている

はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0

工夫している点 ・児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、教室で行っている支援計画の内容を照らし合わせ、確認している。

・子どもたち全員について、2か月に1回個別支援計画を作成している。

・毎日の記録の2か月間を振り返って記述し、ねらい（課題）がどの程度達成されたか、これからの課題をどうしていくかを、職員で話し合っている。

・その記録をもとにお母さんと話し合っている。

③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている

はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0

工夫している点 ・お母さん一人に対して、月に1、2回個人面接を行っている。お母さんの話を傾聴し、必要に応じて助言している。

③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している

はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0

工夫している点 ・月に1回お母さんたちの学習会を行っている。児童発達支援と、放課後等デイサービスを利用しているお母さんたちの両方に声をかけている。

・今年度は10月に父母合同学習会を行った。

・例年は、年間に数回の行事もあり、お父さんも参加しやすいように日曜日に行っている。家族同士がつながることができる機会になっているが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、行っていない。

③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している

はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0

工夫している点 ・何かあった場合はいつでも話を聴くことにしている。実際相談に来ている。

・児童発達支援を利用しているお母さんとは個人面接を月に1、2回行っている。

③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している

はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0

工夫している点 ・2か月に1回「ひまわり教室だより」を発行している。

・「でこぼこ通信」が年に12回以上発行している。子どもたちの様子を中心に、活動概要や行事予定、連絡体制等も発信している。

③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している

はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0

工夫している点 ・十分に注意・配慮している。失敗があることも否めないもので、失敗した時は、その後のことを迅速に対応していく。

改善の目標 ・個人情報の取扱いに十分注意していく。

③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている

はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0

工夫している点 ・子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。「子どもの声を聴く」ことを大事にして関わった。

<ul style="list-style-type: none"> ・ていねいに保護者とのコミュニケーションをとるようにした。 ・③⑩⑪⑬⑭⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿と同様。
<p>④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている</p> <p>はい3 (42.8%) どちらともいえない2 (28.6%) いいえ2 (28.6%)</p>
<p>工夫している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に向けて、「共生の文化講座」を毎年行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、中止した。 ・教室の見学等はいつでも受け入れている。

非常時等の対応

<p>④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p>
<p>工夫している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応マニュアル・子ども一人ひとりの医療ノート・防災マニュアル・感染症対応マニュアルは、子どもが毎日持ってくる袋に入れておくようにしている。
<p>④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p>
<p>工夫している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は年に2、3回行っている。子どもの避難だけでなく、必要な物品を運び出す訓練も同時に行っている。色んな時間帯やパターンを想定して行っている。実施の様子は、「でこぼこ通信」に載せ、保護者に発信している。 ・火事・地震に分けて避難訓練を行った。また、法人で行っている避難訓練にも参加している。 <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう少し訓練のやり方を考える。
<p>④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p>
<p>工夫している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。子どもたち一人ひとりについて「医療ノート」を作成し、服薬の様子や発作のこと等を記している。緊急時の対応表等も作成し、毎日持って来る鞆に、常に入れていく。 ・薬が変わった時は、その都度確認し、日々のケースにも記録している。
<p>④⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている</p> <p>はい6 (85.7%) どちらともいえない0 いいえ1 (14.3%)</p>
<p>工夫している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在ははいないが、食物アレルギーのある子どもがいる場合は、お母さんからの聞き取りをし、医師の指示書に基づく対応をしていく。
<p>④⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している</p> <p>はい1 (14.3%) どちらともいえない4 (57.1%) いいえ2 (28.6%)</p>
<p>工夫している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット事例集は作成していない。ヒヤリハットの案件があった場合は職員で集まって、起こった理由、これからの対処法等を確認している。また起こったことは日々記録しているケースに書いている。また、2か月に1回作成している支援計画で確認し、職員間で共有している。 <p>改善目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットが起こった場合、ケース記録を複写して「事例集」とし、事業所内で共有するようにする。
<p>④⑯ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p>
<p>工夫している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待を防止するため、職員の研修機会を確保しているが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、できていない。毎年、県と市で行われるので、それぞれ参加している。
<p>④⑰ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p>
<p>工夫している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座位保持椅子や車椅子を使用している子どもの保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で座らせるようにし、児童発達支援計画に記載している。

<児童発達支援事業（I部）職員の自己評価を読んで>

- ・47項目中36項目で「はい」が100%でした。自分たちの取り組みについての自負の表われと言っていると思います。特に「環境・体制整備」「業務改善」の領域では9項目すべてで「はい」が100%でした。
- ・「適切な支援の提供」の領域では11項目中9項目で「はい」が100%でしたが、「支援後の振り返り」では「はい」と「どちらともいえない」が57.1%、42.9%と評価が分されました。現実的には勤務時間帯がずれているので、当日すぐに全員で振り返りをするにはできません。集まれる人で集まって、気になる子どもについて確認することはなされていますが、それでは十分に話し合えないこともあるので、子どものことについて考えや見通し等を共有するための工夫は今後も続けたいと思います。
- ・「関係機関や保護者との連携」の領域では、11項目中6項目で「はい」が100%でした。あとの5項目では評価が分されました。「他機関との連携」では、「はい」と「どちらともいえない」が57.1%、42.9%。ひまわり教室では必要な時には他の機関と連携するように努めていますが、全体的にその機会が少ない傾向にあります。
- ・「医ケア児に関する連携」においても、十分できていないと考える人が複数いました。この点については、職員間でいねいに確認し合っていこうと思います。
- ・「他機関からの助言や研修」については、「どちらともいえない」が71.4%でした。他の機関からの助言を求めなければならないことがたいへん少ないうえ、コロナの問題があり、研修にでかける機会も少なかったため、こうした数字になったと思われます。
- ・「障害のない子との交流」については「はい」が0%、「どちらともいえない」「いいえ」がそれぞれ71.4%、28.6%でした。これはまさに今年度の特徴的な面です。コロナの問題があり、外に出ることが極端に少なくなりました。
- ・「協議会への参加」では「どちらともいえない」「いいえ」が28.6%、57.1%でした。「いいえ」がとても高くなっていますが、これは金沢市において協議会の活動がほとんどなされていないことが大きな要因と言えます。
- ・「保護者への説明責任等」の領域では、9項目中8項目で「はい」が100%でした。「地域にひらかれているか」については「はい」が42.8%、「どちらともいえない」「いいえ」がともに28.6%でした。これは例年行われている講演会を開けなかった点に着目すれば後者になるし、「可能であれば開こうと考えていた」という点に着目すれば前者になります。これもコロナ問題の影響です。
- ・「非常時等の対応」の領域では、7項目中5項目で「はい」が100%でした。
- ・評価の低かったのは、「ヒヤリハットの事例集の作成」に関する項目で、「どちらともいえない」「いいえ」は57.1%、28.6%と高くなっています。これは今後の課題です。先日、ケース記録等に記されているものをファイルしていくよう、職員全員で確認し合いました。

自己評価結果等の公表

公表：令和3年2月28日

事業所名 金沢市障害児通園施設ひまわり教室

1. 放課後等デイサービス事業（Ⅱ部）「保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果」

保護者数 28 人 回収数 28 人 割合 100 %

＜回答の分析結果は表1の通り＞・質問は5つの領域に分かれていて、全部で18個の問い。

表1 「保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の回答の集計結果」 ()内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	合計
環境、体制整備 (①～③)	83 (98.8)	1 (1.2)	0 (0)	0 (0)	84 (100)
適切な支援の提供 (④～⑥)	66 (78.6)	11 (13.0)	3 (3.6)	4 (4.8)	84 (100)
保護者への説明等 (⑦～⑭)	202 (90.2)	22 (9.8)	0 (0)	0 (0)	224 (100)
非常時等の対応 (⑮～⑰)	53 (94.6)	2 (3.6)	0 (0)	1 (1.8)	56 (100)
満足度 (⑱～⑲)	53 (94.6)	3 (5.4)	0 (0)	0 (0)	56 (100)
合計	457 (90.7)	39 (7.7)	3 (0.6)	5 (1.0)	504 (100)

環境・体制整備

① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか はい28 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 意見 ・「遊びの部屋、ごはんの部屋などきちんと分けてあってほどよいスペースでよい」「割と広いので体を動かすのも適しています」「広々と動きまわっています」「広く確保できていると思う」
② 職員の配置数や専門性は適切であるか はい28 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 意見 ・「1人1人よく見ていただけていると思う」「細やかな配慮がなされています」「先生の配慮に満足です」「医療的ケアの子にも対応するために講習等受けてくれているのでとてもありがたい」
③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などのバリアフリー化の配慮が適切になされているか はい27 (96.4%) どちらともいえない1 (3.6%) いいえ0 意見 ・「最近では、手すりを使って歩行練習できるようになり、あってよかったと思います」「どんなお子さんでも不自由はないと思う」「車いすやバギーの子でも不自由なく過ごすことができている」

適切な支援の提供

④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか はい25 (89.2%) どちらともいえない2 (7.2%) いいえ0 無回答1 (3.6%) 意見 ・「いつも率直に言うてくださるのでわかりやすく助かっている」「子どもにあった遊びを通してのコミュニケーション、ありがとうございます」「子どもの成長に合わせてくれています」 要望 ・「デイサービス計画は年に1度ですが、年度内に見直す機会があってもいいかなと思います」「子どもがひまわり教室を好きなので、平日利用もしたいが、学校の下校時間の変更などの対応が難しいようなので利用できない」
⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか はい26 (92.8%) どちらともいえない0 いいえ1 (3.6%) 無回答1 (3.6%) 意見 ・「いろいろな活動をしていただけてよい経験ができていると思います!!」「いつも違う遊びをして帰ってくるのでありがたいです」「いろんな活動をしてもらっていると思います」「毎回工夫して活動してくれています」「色んな活動で楽しませてくれていると思う」 要望 ・「コロナで外へ出るのが難しいですが、公園でひたすら走るとか運動的なものもあるといいです」「設定保育が少々マンネリ化しているかな?! 少し変化が欲しい」
⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか はい15 (53.5%) どちらともいえない9 (32.1%) いいえ2 (7.2%) 無回答2 (7.2%) 意見 ・「地域の学校に登校しているのでもいい(必要ない)」「コロナでなかったら交流する機会は作っていると思います」「うちは

地域なので特に必要ないですが…」「今は難しいと思います」「そのような機会があるのかどうかわかりません」「今はどのようになっているかわからない」「交流の機会を親が持つべき、というはなしを聞き、納得しました」「実際交流があるかわかりません」「(幼稚園の交流に連れて行ってもらっていた時)よく幼稚園の子にもらったものを持ち帰ってきていました。嬉しそうでした」

要望 ・「コロナで難しいでしょうけども、ぜひやってほしいです」「健常者とのふれあい交流を増やしてほしい」

保護者への説明等

<p>⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか</p> <p>はい27 (96.4%) どちらともいえない1 (3.6%) いいえ0</p> <p>意見 ・「分からないことがあっても質問したらとても分かりやすく説明してくれる」</p> <p>要望 ・「キャンセル料が発生することを知らなかったので、早くに知りたかった」</p> <p>*かかる費用について説明文を用意します。</p>
<p>⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか</p> <p>はい26 (92.8%) どちらともいえない2 (7.2%) いいえ0</p> <p>意見 ・「通室時にいつも伝え、(その日に) あったことも伝えてもらっている」「Ⅱ部になり、定期的なはなしの場がなくなってしまったのですが、必要な時には急でもじっくり聞いて下さり有難い」「連絡帳は、その日の行動がかがやいて参考になります」「相談にのっていただき助かります。困り事も軽減されました」「口頭や連絡帳で教えてもらっています」「細かいところまでみてくれていて日々の家での生活にも助かっています」「月に1~2回の利用なので、送迎の時に話すくらいなので(どちらともいえない)」</p> <p>要望 ・「年齢に応じて、支援をしてほしいかな?と思います。今わが子にどんな課題があるのか、わかりませんが、通所させてもらっているだけで助かっています」*お話ししました。</p>
<p>⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか</p> <p>はい24 (85.7%) どちらともいえない4 (14.3%) いいえ0</p> <p>意見 ・「助言は気づかされる事が多く、またお願いします」「相談にのってもらっています」「困り事について話をきいてくださったり、アドバイスを頂けるのでありがたいです」「いろんな相談に応じてくれる」「利用日数は少ないですが、ノートに書いたちょっとしたこと、ささいな事でも、送迎時にお話しして下さったり、子どもの様子を教えて下さることが、後に響くことがあり、ありがたく思います。日々のことに追われがちで、つい後回しにしてしまうのですが、お話しする中で、後回しから引き戻してもらっている感じです。ひまわりさんから帰ってきた時は、子どもも満たされているのか落ち着いたようすなので、こちらも気持ちに余裕ができていますのだと思います」「退室(Ⅰ部からⅡ部になっても)しても相談にのってもらえるので、とても嬉しいです」「他では言えないことも言え、相談ができて、私のストレス発散にもなっています」</p> <p>要望 ・「先生方の時間の都合等や、家庭によっても状況は違うと思うので、2~3か月ごとに面談の希望の有無があるとよいと思いました」「学校に行ってからいろいろ悩んだりするので、Ⅱ部も定期的に面談があったほうがよいと思います」「月2回程度の利用なので、育児、学校に関することをあまり話すことが出来ない。また保護者会などは正直参加しづらい」「昼間の利用ではないですが、時々面談があれば嬉しいです」「放課後デイになってから話す機会はへったかなー?」</p> <p>*Ⅱ部の面接に関しては、希望する人に応える形になっています。そのことを周知するようにします。</p>
<p>⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか</p> <p>はい22 (78.6%) どちらともいえない6 (21.4%) いいえ0</p> <p>意見 ・「コロナの状況でしたが、卒園、就学した方とも顔を合わせる機会があり、良かったです」「父母会、日曜会、学習会などがある」「たまに学習会で他のお母さん方と会って話をきくとはげみになります」「定期的に行われている」「保護者同士のつながりは大切にしてほしい(実際にあるのでよいと思う)」</p> <p>要望 ・「子どもの世話は母親がメインになりがちなので、父親の会の開催が多くあると、実情を知る機会になるかと思います」「勉強会、有難うございます。木曜日だと参加しにくい場合があります」「会には参加できてなく、また参加しても途中で帰ることがあるので、他の方との連携、取れていないです」</p>
<p>⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応されているか</p> <p>はい26 (92.8%) どちらともいえない2 (7.2%) いいえ0</p> <p>意見 ・「苦情を出した事や聞いた事がないので分からない」「苦情を出したこともなく、苦情の有無も把握していないので、自分が分かっている」「今はどのようになっているか、よくわからない」「苦情があるかわかりません」「相談しやすい環境のため、何かあるとすぐに言えて、その都度対応してくれているため、安心できる」</p>

<p>⑪ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか</p> <p>はい25 (89.3%) どちらともいえない3 (10.7%) いいえ0</p> <p>意見 ・「学習会や評価表での意見をいつもくみ取ってくださっているのを感じます」「配慮されていると思います」「いつも悩みや相談をきいてくれて本当に助かっています」「どんなことでも話し、こたえてもらえる」「連絡帳にその日の出来事を書いてくれたり、直接色々伝えてくれたりする」「送迎の際に話ができるのが嬉しいです。次の人の送迎の時間があるので長く話してはいけないと思っていますが」</p> <p>要望 ・「最近こちら連絡帳を書けなかった日がありますが、4回連続子どもの様子を書いてなく（特に玄関先でも様子を教えてもらってないです）最近さみしく思います」「放課後デイは忙しく時間がないと思いますが、連絡帳を見ていない時もあるのかな？と…」*気をつけます。</p>
<p>⑬定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか</p> <p>はい27 (96.4%) どちらともいえない1 (3.6%) いいえ0</p> <p>意見 ・「会報いただいています」「久しぶりなのでこぼこ通信、うれしかったです。時々でいいので、あったらⅡ部の様子も知れてうれしいです」「写真やノートに様子を細かく書いてくれるのでありがたいです」「毎月送られてくる『ひまわり教室だより』を楽しみにしています」「おたより、会報が定期的にくちんと来るので読むのが楽しみです」「定期的にある」「定期の案内やおたよりも先生方お忙しい中、思った以上に機会を作って下さり、もっと参加できたらと思っています」</p> <p>*昨年度の評価表の意見を受け、Ⅱ部の子どもたちにも通信を出すようにしました。もう少し出すようにします。</p>
<p>⑭個人情報の取扱いに十分注意されているか</p> <p>はい25 (89.3%) どちらともいえない3 (10.7%) いいえ0</p> <p>意見 ・「確認不足でわかりません」「一つ一つ丁寧に（確認を）取ってもらっている」</p> <p>要望 ・「守秘義務は常に大切にしてほしい」</p>

非常時等の対応

<p>⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか</p> <p>はい27 (96.4%) どちらともいえない1 (3.6%) いいえ0</p> <p>意見 ・「お便りで様子が分かりました」「マニュアルあります」「マニュアル確認している」「説明の書いてあるマニュアルを渡してくれるので分かりやすい」</p>
<p>⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか</p> <p>はい26 (92.8%) どちらともいえない1 (3.6%) いいえ0 無回答1 (3.6%)</p> <p>意見 ・「防災訓練のプリントがわかりやすかったです」「行われていると思います」「避難訓練などは（便りでいただき）写真付きで分かりやすいです」「わかりません」「訓練した後どうだったか反省点など、お知らせで、写真付きで報告があってよいです」「訓練の様子をお便りで知らせてくれるので分かりやすい」</p>

満足度

<p>⑰子どもは通所を楽しみにしているか</p> <p>はい26 (92.8%) どちらともいえない2 (7.2%) いいえ0</p> <p>意見 ・「本人はとにかく楽しい様です。親子共々安心出来る場です」「学校とは違う友達に会え、自分の居場所があることがうれしいようです」「とても嬉しそうです。有難うございます」「もう一箇所利用している所より喜びます」「小さいころからの安定した場所で本人も心地よくすごしていると思います」「今日ひまわりだよー！と言うと『やった！』といつも言っています」「毎回帰ってくると活動内容を話してくれて楽しかったと言っています」「小さな頃から通っている教室を、子どもがとても大好きでいつも楽しみにしています」「とても楽しみにしています」「ほとんど利用していないが、それでも楽しみにしている」「月に1度程度の通所ですが、楽しみにしています」「◎」「毎回楽しみにしている」「おむかえに来てくれると嬉しそうに笑っています」「曜日や日にち、時間の感覚がなかなか難しいので、毎日のように『明日はどこの幼稚園？』『お休み？』と聞くのですが、『ひまわりさん』と言うと『やったー』と言って、何か、やりたいことを思い浮かべているような表情を見せることもあります」「通所する日はとても嬉しそうにしている」「サッサとバスに乗り込み、帰って来てもバスから降りようとしないうらい楽しんでます」</p> <p>要望 ・「うちの子は一年一年、元気になり、少しひまわり教室に物足りなさを感じているかも…。けど、ひまわり教室（親にとっても子どもにとっても避難所）を今後も大切にしてつなげていきたいです」</p>

⑱ 事業所の支援に満足しているか

はい27 (96.4%) どちらともいえない1 (3.6%) いいえ0

意見 ・「今は必要にせまられて預かってもらっている状況ではないけれど、家族や幼稚園以外に頼れて安心出来る場所や、人がいて恵まれているなあと思っています」「子どもの気持ちに寄り添い、きめ細やかな対応をしていただき、助かっています」「支援に満足です。いつもご無理申し上げます」「もっと利用したいくらいです」「いつもお世話になりありがとうございます。これからもよろしくをお願いします」「とても満足しています。子ども通所を楽しみにしているので、特に不満はありません」「いつも子どもの気持ちに寄り添い、全力で遊んで下さるので感謝しています」「親としても一緒に成長してきたので、教室に思い入れもあり、安心して任せることが出来ます」「大満足です」「通所させるだけで精一杯で、きがえを入れられなかったり、冷食だけのお弁当とかしか入れられなかったりしても、特に何も言われないのは精神的に本当に助けられています」「子も親も安心して利用させてもらっている」「◎」「安全面など信頼して預けている」「家庭では、長い間ずっと手づかみで食事をとることが多く、何だかな〜と思っていましたが、どうもひまわりさんで訓練？しておはしを少しずつ使うようになったのではないかと思います。行き届かない点を埋めていただいていることで、子どもも私たちも大変助かっております」「とても満足しています。急な予定変更にも対応してもらっていて、安心して預けられています」「とても丁寧に対応してもらっていると感じています!!」

要望 ・「利用日当日、急なお休みの時、8時30分ごろの電話だと誰も出られないことがあるので朝の連絡先がはっきりしているとありがたいです。また教室に電話した時、電話に出られた方が誰か名乗ってもらえると助かります」

***気をつけます。**

<放課後等デイサービス（Ⅱ部）保護者評価を読んで>

- ・「**環境・体制整備**」「**非常時等の対応**」「**満足度**」の領域においては高い評価をいただきました。特に「非常時等の対応」では、「はい」が前年度の69.1%から94.4%に上昇しました。
- ・「**適切な支援の提供**」の領域は、全体として「はい」が78.6%と低くなっています。これは、「障害のない子との交流」について「はい」が53.6%しかなかったことが大きな理由です。昨年度に「増やしていくようにする」と書いた矢先に、新型コロナ感染拡大の問題があり、今年度は外へ出かける機会がたいへん少なくなりました。それが大きく影響していると思います。一方で、職員の工夫も足りなかったと思います。今後は、利用している子どもたちの地区の児童館や公園へいく機会を多くしていきます。
- ・「**保護者への説明等**」の領域は、全体として「はい」が90.2%で、前年度の94.6%から少し減少しました。細かくみると、8項目のうち「相談の機会」「他の保護者とのつながりの支援」の2項目において「どちらともいえない」がそれぞれ14.3%、21.4%と高い値でした。記述式の回答でも、「相談の機会を設けてほしい」という趣旨の要望が複数出されました。実際は、Ⅱ部利用の保護者で相談に来ている人が何人もいます。その一方で、全ての人に向けた説明が十分にされていませんでした。
- ・保護者への連絡が不十分という指摘もあったので、(上記のことも含め)今後十分に気を付けていきたいと思います。

2. 放課後等デイサービス事業（Ⅱ部）「職員からの放課後等デイサービス事業所自己評価の集計結果」

金沢市障害児通園施設ひまわり教室 職員数 7人 回収数 7人 割合100%

<回答の分析結果は表2の通り>・質問は6つの領域に分かれていて、全部で43個の問い。

表2「放課後等デイサービス事業自己評価に関する質問の職員からの回答の集計結果」(7人分) ()内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	合計
環境、体制整備 (①～③)	20 (95.2)	1 (4.8)	0 (0)	0 (0)	21 (100)
業務改善 (④～⑧)	35 (100)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (100)
適切な支援の提供 (⑨～⑱)	69 (89.6)	8 (10.4)	0 (0)	0 (0)	77 (100)
関係機関や保護者との連携 (⑳～㉑)	51 (72.9)	12 (17.1)	7 (10.0)	0 (0)	70 (100)
保護者への説明責任等 (㉒～㉗)	51 (91.0)	3 (5.4)	1 (1.8)	1 (1.8)	56 (100)
非常時等の対応 (㉘～㉚)	34 (80.9)	6 (14.3)	2 (4.8)	0 (0)	42 (100)
合計	260 (86.4)	30 (10.0)	10 (3.3)	1 (0.3)	301 (100)

環境・体制整備

① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点	・児童発達支援（I部）と同じ施設を使用している。 ・玄関から廊下は広く作ってあるので、子どもたちはよく走り回っている。全体的にゆったりしている。ベランダから外の広場（すぐ横に市の公園がある）や屋上へ出て遊ぶこともある。 ・受け入れの人数を調整している。
② 職員の配置数は適切であるか	はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点	・土曜日や夏休みに一日に通う子どもの人数が多くなるので、アルバイトを必要に応じて配置している。 ・土曜日は、アルバイトの人にも来てもらい少しでも余裕をもって活動できるようにしている。
改善点	・児童発達支援事業と活動が重なる時は少ないと思うことはある。
③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい6 (85.7%) どちらともいえない1 (14.3%) いいえ0
工夫している点	・建物自体がバリアフリー化されている。
改善点	・中学生以上の子など、体の大きい子には狭く思えるところはある。

業務改善

④ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点	・職員ミーティングを毎週1回行い、子どもの確認や業務の確認など、いろいろな情報の共有を行っている。 ・スーパーバイザーに意見をもらいながら、自分たちの活動を振り返っている。改善すべきところは職員全員で取り組んでいる。 ・記録を書くときに確認するようにしている。記録を基に振り返りを行っている。
改善点	・II部の子どもたちについては話し合いが十分になされていない面がある。今後増やしていく予定。 ・外部との交流の機会も増やす予定。
⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点	・毎年行っているアンケートも含め、保護者の意向に沿うように対応している。 ・保護者からの意見は職員皆で確認し、改善できるものはすぐに対応している。
⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点	・金沢市のホームページにて公開している。「ひまわり教室だより」でも発信している。
⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点	・外部の第三者委員に依頼して行っている。
⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点	・教室内で勉強会を開催しているほか、外部の研修会にも参加している。

適切な支援の提供

⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点	・通ってきた日の子どもの様子の記録と家からの聞き取り（家での様子や主に通っている学校などの様子、希望など）を基に、半年に1回放課後等デイサービス計画を作成している。
改善点	・一人ひとりの「課題」について、家庭訪問などを行い、話し合うようにできれば、と思う。
⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点	・児童発達支援（I部）と同じ。

<p>⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・ 毎回利用するメンバーや人数が違うので、一人ひとりについての当面の課題を基本にしつつ、放課後等デイサービス（Ⅱ部）の予定を決めている。あらかじめ決めた予定はあるが、担当になった職員がその日に通ってくる子どもたちとで相談して変更することもある。</p> <p>改善点 ・ 利用している子どもたちの地域の児童館や公園を把握して、活動プログラムを決定していく。</p>
<p>⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか はい6 (85.7%) どちらともいえない1 (14.3%) いいえ0</p> <p>工夫している点 ・ 平日と土曜日に放課後等支援を行っているが、⑪に書いたように行っている。土曜日は1か月ごとに毎回違う設定遊びを行った。平日の放課後に利用する子どもの顔触れがどの日も違うことや、教室に来る機会が少ない(月1回の子もいる)ことや時間が短いことなどから、本人が同じような遊びを求めることが多い。今年度はどちらも、コロナのこともあり室内で過ごすことが多かったが、天気の良い日には公園に出かけたり、いろいろな経験・体験ができるように工夫したりしている。</p> <p>改善点 ・ コロナのことに十分に気をつけながら、児童館や公園に出かけることを増やしたり、地域の中で過ごすことで、児童クラブや他の地域で過ごせる場所とつなげる活動をしていったりしていく予定にしている。</p>
<p>⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか はい5 (71.4%) どちらともいえない2 (28.6%) いいえ0</p> <p>工夫している点 ・ ⑨⑪⑫と同じです。 ・ 長期休暇・土曜日は、Ⅰ部の子も交じっての集団活動（集団で遊びつつ、個別対応する）をしている。一人ひとりの課題を確認しながら状況に応じて支援している。</p> <p>改善点 ・ 一人ひとりの課題を確認しながら状況に応じて支援しているが、応えきれていないこともある。</p>
<p>⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>・ ⑨⑪⑫⑬にあるように、計画を作成している。</p>
<p>⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・ 送迎後、職員が顔を合わせ、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。職員全員がいるわけではないので、必要に応じて、確認したことをいない職員に電話連絡している。 ・ 柔軟に対応している。子どもの状況に応じている。</p>
<p>⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか はい4 (57.1%) どちらともいえない3 (42.9%) いいえ0</p> <p>工夫している点 ・ Ⅱ部の支援終了時は職員が揃っていないため、支援の振り返りはできていないが、送りの車の中で確認したいことや話し合うことがあれば、メモを残したり電話連絡をしたりして気づきや必要な点を共有し、子どもの支援で重要な事項があれば必ず打ち合わせをしている。</p>
<p>⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・ 毎日の記録を取ることを大切にしている。その記録と家からの聞き取りを基に、おおむね半年に1回、支援計画を作成し、支援の課題について職員と確認をしている。</p> <p>改善点 ・ 確認をしているが、回数が少ないので回数を増やす。</p>
<p>⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか はい6 (85.7%) どちらともいえない1 (14.3%) いいえ0</p> <p>工夫している点 ・ ⑰に書いたことに加え、見直しの必要な時には支援計画の見直しをする。半年に1回見直ししている。</p> <p>改善点 ・ 職員と確認をしているが、回数が少ない。</p>
<p>⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか はい6 (85.7%) どちらともいえない1 (14.3%) いいえ0</p> <p>工夫している点 ・ 行っている。</p> <p>改善点 ・ 共生社会の実現に向けた後方支援が課題である。</p>

関係機関や保護者との連携

<p>⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。職員に報告している。</p>
<p>㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・学校から月間下校時間などをファックスでもらっている学校もある。迎えの時間の急な変更等にも対応している。主には学校との連絡は保護者を通して調整している。</p>
<p>㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>・児童発達支援（I部）と同じく、整えている。主治医から研修をしてもらっている。</p> <p>工夫している点 ・通室する回数が少ない子には、その都度家族に確認している。</p>
<p>㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか はい6 (85.7%) どちらともいえない0 いいえ1 (14.3%)</p> <p>工夫している点 ・以前に利用していた所のことや他の事業所での様子はお母さんを通して情報を得ている。連絡を取る必要がある場合は連絡をしている。相談支援事業所からの情報も時にはある。</p>
<p>㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか はい4 (57.1%) どちらともいえない3 (42.9%) いいえ0</p> <p>工夫している点 ・今のところそういうケースがないが、必要のある場合は情報提供をし、出向いて話し合いをする。</p>
<p>㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか はい2 (28.6%) どちらともいえない4 (57.1%) いいえ1 (14.3%)</p> <p>工夫している点 ・他にスーパーバイザーがいますので、基本的に受けていない。必要があれば、その時に考えていく。 ・合同の研修会には参加している。</p>
<p>㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか はい3 (42.9%) どちらともいえない3 (42.9%) いいえ1 (14.2%)</p> <p>工夫している点 ・コロナのため、回数は少なかったが、児童館や域の子どもたちが遊んでいる公園などには行ける日には行った。今年度の大半は控えていた。</p> <p>改善点 ・例年も行っていることだが、他の子どもたちと触れ合ったり、一緒に遊んだりする機会を増やす。なるべく地域の子もたちとつながられるように行っていく。</p>
<p>㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか はい1 (14.3%) どちらともいえない2 (28.6%) いいえ4 (57.1%)</p> <p>改善点 ・機会があれば参加していく。</p>
<p>㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・送り迎えの時を利用しコミュニケーションをとった。連絡帳のやり取りをしている。また、希望のある場合、個人面談で話を聴いている。月に1回、主にお母さんたちの参加する学習会を行っている。お母さんたちとは話をするようにしている。</p> <p>改善点 ・学習会のお知らせは小学校の高学年以上の人には出していない。「つながりの会」へ誘うことも考える。</p>
<p>㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・担当の職員がしっかりサポートしている。適宜相談の依頼があれば支援を行った。</p> <p>改善点 ・相談担当の職員以外の職員もなるべく親の人と話をするようにする。</p>

保護者への説明責任等

<p>⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>・なし</p>

<p>③① 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・㊸と同じ。 ・保護者からの子育ての悩みなどに対する相談があれば話を聴き必要な助言と支援を行っている。</p>
<p>③② 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか</p> <p>はい6 (85.7%) どちらともいえない1 (14.3%) いいえ0</p> <p>工夫している点 ・学習会・父母合同学習会など呼びかけている。また、障害のある子・人と家族の会「つながりの会」に誘うようにしている。参加した人たちと進路のことや、悩んでいることなどを話し合っている。 ・例年、お父さんたちにも参加してもらえるように日曜日に行事を開催するようにしているが、今年度はコロナウイルス感染防止のため、中止した。家族どうしの交わりの機会がなくなってしまい、残念だった。</p> <p>改善点 ・月1回行っている学習会に参加している保護者はほかの保護者に会うことがあるが、それ以外の保護者同士が会うことはあまりない。また、小学校高学年以上の保護者には発信できていない。</p>
<p>③③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・運営規定や重要事項説明書に書いてあり、利用開始時に説明をしている。運営規定は見える所に貼り出している。また、法人の方でも、第三者委員の名前を貼り出している。 ・何かあった場合はいつでも話を聴く。希望がある場合に定期的に面接をしている。送迎時や、連絡帳のやり取りなどで連絡し合っている。こうしてほしいなどの要望のある場合には速やかに対応している。 ・苦情はあまりないが、家の事情などで大変そうな時は積極的にサポートできるように対応する。</p>
<p>③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・小学校低学年までの保護者には学習会のお知らせを出している。 ・利用している全員に、毎月の利用希望を聞いたり、利用する日の送迎時間を確認したりする時に連絡事項を発信したりしている。また、おたより『でこぼこⅡ部』を一人一人の様子と避難訓練の様子などを載せ、発行した。 ・ひまわり教室全体で、2か月に1回『ひまわり教室だより』を発行している。活動概要・行事予定・報告・その他の情報などを発信している。</p> <p>改善点 ・小学校高学年以上の保護者には学習会のお知らせは発信できていない。 ・おたより『でこぼこⅡ部』をもっと発行回数を増やす。</p>
<p>③⑤ 個人情報に十分注意しているか</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・情報の管理には注意している。契約時に個人情報確認書を説明し、署名してもらっている。 ・子どもたちの写真や文章を出す時は、その都度保護者に確認を取っている。</p>
<p>③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・送り迎えの時を利用しコミュニケーションをとった。連絡帳のやり取りをしている。また、希望のある場合、個人面談で話を聴いている。月に1回、主にお母さんたちの参加する学習会を行っている。お母さんたちとは話をするようにしている。何かあった場合には速やかに話を聴いたり連絡をしたりしている。</p>
<p>③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか</p> <p>はい3 (42.8%) どちらともいえない2 (28.6%) いいえ1 (14.3%) 無回答1 (14.3%)</p> <p>工夫している点 ・市民に向けて毎年「共生の文化講座」を行っていますが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、中止した。新型コロナウイルス感染防止のために注意をし、見学はいつでも受け入れている。</p>

非常時等の対応

<p>③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか</p> <p>はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0</p> <p>工夫している点 ・緊急時対応マニュアル・緊急対応の表・医療ノート・防災マニュアル・感染症対応マニュアルは、教室を利用する時に持ってくる袋に入れてある。</p>

改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用電源は、車用の電源は大きな容量のものを用意してある。 ・非常用電源として蓄電用の物を用意する。 ・緊急用の110番通報電話を設置したことを周知する。
③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか はい5 (71.4%) どちらともいえない2 (28.6%) いいえ0	
工夫している点	・避難訓練は、土曜日には1度行った。全員には行えていない。
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用する時間帯や時期（長期休暇）によって状況が違うので、不定期に訓練することで、より臨機応変になると思う。 ・Ⅱ部の子ども達全員に対して避難訓練をするようにする。
④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0	
工夫している点	・例年は虐待防止研修に参加している。今年度はコロナのためできていない。
④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、しているか はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0	
工夫している点	・やむを得ず身体拘束を行う場合は、放課後等デイサービス計画に記載している。
④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0	
工夫している点	・食物アレルギーのある子どもについては、お母さんからの聞き取りをし、対応している。教室から食べ物を提供することはほとんどなく、おやつなどは家から持ってきている。それ以外の物は食べないようにしている。医師の指示書が必要な子に対しては、指示書にもとづく対応をしていく。
④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか はい1 (14.3%) どちらともいえない4 (57.1%) いいえ2 (28.6%)	
工夫している点	・ヒヤリハット事例集は作成していないが、ヒヤリハットの場合、職員全員で確認をして、防止に努めている。実際に事故が起こった場合も、その都度ミーティングで確認し対応している。
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの事例の記述を複写して事例集を作成する。 ・引き続き、ヒヤリハットの場合、職員全員で確認をして、防止に努める。実際に事故が起こった場合も、その都度ミーティングで確認し対応する。

<放課後等デイサービス（Ⅱ部）職員の自己評価を読んで>

「環境・体制整備」領域 *前回の「はい」は72.2%

- ・自己評価は高く、「はい」が95.2%でした。
- ・以前は考えられていなかった、「年齢の高い子どもの受け入れ」をするようになり、トイレが狭くなっているとの意見がありました。

「業務改善」領域 *前回の「はい」は93.3%

- ・5項目とも100%で、自分たちが工夫していることの自負が数字に表れている」と言えます。

「適切な支援の提供」領域 *前回の「はい」は87.9%

- ・11項目の平均は「はい」が89.6%でした。
- ・細かくみると、「平日、休日などによりきめ細かな課題設定をしているかについて」「どちらともいえない」が28.6%、「支援の振り返り」で「どちらともいえない」が42.9%と高くなっています。
- ・「支援の振り返り」は、実際的に職員全てでの振り返りは不可能な状態です（勤務時間帯がずれている）。そこにいる数人の職員で気になった子どものことを語り合うことは日常的に行われています。後日ミーティングで全体で情報共有します。

「関係機関や保護者との連携」領域 *前回の「はい」は73.4%

- ・この領域については昨年に続いて大変に低くなっています（「はい」が72.9%）。
- ・10項目中5項目で、「はい」が100%（「現在通学している学校との情報共有」「担当者会議」「保護者との連携」「医療的ケア児の受け入れに関する取り組み」「保護者支援」）でした。
- ・自己評価の低いのは、「学校卒業後の福祉事業所への情報提供」「他の専門機関等との連携」「放課後児童クラブとの

交流」「協議会への参加」といった項目です。

- ・そのうち「協議会への参加」については、その会がほとんど活動していないという事情があります。「放課後児童クラブとの交流」については、コロナ感染の問題が大きく影響しています。これらは外因的な側面があったとは言え、「交流」については工夫の余地があったと思います。今後の課題です。
- ・「学校卒業後の福祉事業所への情報提供」は、例が極めて少ないうえ、情報提供を求められることもほとんどないので、はっきりと「はい」と言いにくい側面があります。そのことが数字に表れたと思われます。
- ・「他の専門機関等との連携」は、必要に応じて行う姿勢でいるつもりですが、実際上あまり必要がありませんでした。ただし、もっと積極的に求めていくことも必要かもしれません（今年度はコロナの問題もあり、仕方ない面もあった）。

		はい	どちらともいえない	いいえ
②④	卒業後情報提供	4 (57.1)	3 (42.9)	0 (0)
②⑤	他機関との連携	2 (28.6)	4 (57.1)	1 (14.3)
②⑥	児童クラブと交流	3 (42.9)	3 (42.9)	1 (14.3)
②⑦	協議会	1 (14.3)	2 (28.6)	4 (57.1)

「保護者への説明責任等」領域 *前回の「はい」は87.5%

- ・「はい」が91.0%と高い水準でした。今年度はさらに保護者との連携を大切にしてきました。それが自己評価にも表れている、と言えます。
- ・「どちらともいえない」が5.4%ありましたが、理由としてコロナ禍の中で住民に向けた講演会を開けなかったことがあげられる。実際は開けなかったものの、方向性としては、「開けるものなら開こう」と考えていました。

「非常時の対応」領域 *前回の「はい」は88.8%

- ・「はい」が80.9%とかなり低くなっています。これは「避難訓練」と「ヒヤリハット事例集」について評価が低くなったためです。
- ・6項目のうち4項目については、「はい」が100%でした。
- ・「避難訓練」と「ヒヤリハット事例集」で評価が低くなっています。とりわけ「ヒヤリハット事例集」については、「はい」は14.3%でした。

		はい	どちらともいえない	いいえ
③⑨	避難訓練	5 (71.4)	2 (28.6)	0 (0)
③⑩	ヒヤリハット事例集	1 (14.3)	4 (57.1)	2 (28.6)

「全体として」

- ・自己評価が昨年度より高くなっています。おたがいに改善努力をしていることが数字に表れていると言えます。
- ・ただ、細かくみていくと、改善すべき点・工夫すべき点があります。
 - (1)他機関との連携については、ひまわり教室の中での研修やミーティングで解決されたり、学びが深まったりしていく側面があるとしても、視野を広げていろいろな所とつながっていく努力はした方がいいと考えています。
 - (2)とりわけ、放課後児童クラブなどとのつながりは、これまで以上に大切にしていけたらいいと思います。今年度はコロナの問題があったので、ほとんど取り組みができませんでしたが、その中でも工夫できることはあるはずなので努力していきたいと思います。
 - (3)「ヒヤリハットの事例集」については、事例をファイルにして、みんなで共有していく事を先日確認しました。